

六つの華だより

糸魚川市立磯部小学校
平成 26 年 5 月 25 日 (金) No. 3
E-mail isobesho@itoigawa.ne.jp
URL <http://www.itoigawa.ed.jp/isobesho/>



美しい日本海 豊かな自然 子どもたちの笑顔いっぱい磯部小

本当の「自由」の意味とは？

校長 高橋 雅史

10年ほど前、海外の取材番組を見ていた時のことです。私は、ある17歳の青年の言葉にとっても関心しました。

その番組は、インドの地方に暮らす、ある貧しい家族の絆を取材した番組でした。父親を早くに病気で亡くし、5人の子どもたちは、母親の手一つで育てられていました。その青年は5人兄弟姉妹の長男でした。貧しい暮らしの中で働きながら高校に通い、苦勞しながら家族とともにたくましく生きている様子が伝わってきました。ゲームセンターや携帯電話、テレビもない生活は、現代の日本の多くの若者の目から見れば、この上ないほど不自由なくらしです。

「あなたは、もっと自由に生きてみたいと思いませんか？」

(日本人のインタビュアーの目には、きっとこの青年の生活が不自由な生活に見えたのでしょう) そんなインタビュアーの質問に、インドの若者はこう答えたのです。

「私の考える自由とは、今は家族を助けて自分の責任を果たし、将来は自立して家族を養い、決して他人に迷惑をかけないことです。」

よく聞かれる「関係ないだろう…」「俺たちの勝手だろう…」「口出しするなよ…」というような発想とは正反対の「自由」のとらえ方です。このような考え方でできる若者が日本に果たしてどれだけいるのか、少し心配になりました。



ところで、「自由」という言葉は、明治になってから英語からの翻訳で作られた言葉だそうです。もともとなっている言葉は、「Freedom(フリーダム)」と「Liberty(リバティー)」です。

“フリーダム”は、奴隷的な拘束や差別を受けないなど人間として当然もっている基本的人権としての「自由」。一方、「リバティー」は、どちらかというところ「勝手気まま」「思うがまま」に近い意味で使われることの多い「自由」の概念だそうです。もともと日本にない概念ですから、あれこれ苦勞したあげく、本来は別々の意味で使われるはずの2つの言葉に、どちらも「自由」という同じ訳語が採用されてしまったこととなります*註。

現代の日本の社会では、ややもすれば“権利としての自由”と“勝手気まま”この2つの「自由」を混同し、自分の都合のよいように解釈してしまっていることがあるような気がします。一人一人が自立し、それぞれの義務と責任を果たし、互いを尊重し合ってこそ、個人の「自由」が保障されるのではないのでしょうか。

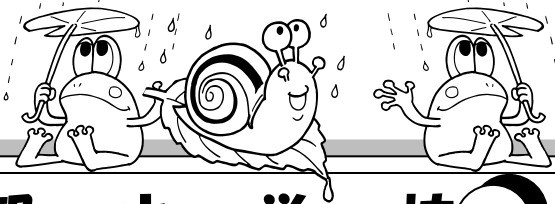
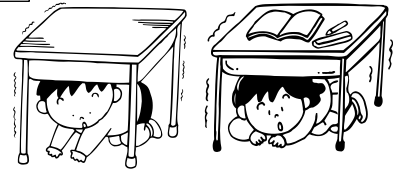
公共の迷惑になったり、相手を傷つけたりするような「自由」は存在しないはずです。人を傷つける「自由」もありません。「自分たちだけの思いの通りにしてよい」「勝手気ままに自由に何でもしてよい」というような主張は間違っていることを、小学校のうちからきちんと教えていきたいと思えます。

*註 岩波新書「翻訳と日本の近代」丸山真男・加藤周一著 岩波書店 1991年

6月の主な行事予定

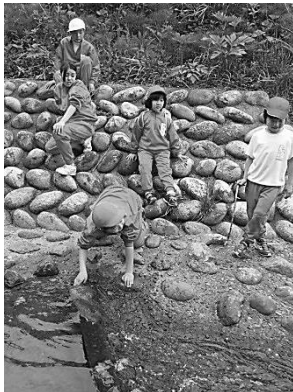
- 1(日) P T Aいそべの森草刈り(大洞・藤崎・百川)
- 4(水) 全校朝会・家庭訪問1日目(徳合・仙納・大洞・百川)・・・3限給食後下校
- 5(木) 家庭訪問2日目(藤崎)・・・3限給食後下校
- 6(金) 家庭訪問3日目(筒石・中郷)・・・3限給食後下校
- 8(日) P T Aいそべの森草刈り予備日
- 9(月) 全校S S T
- 10(火) 全校地引網体験 ←
- 12(木) 防災教室(地震からの避難)・子ども貯金日
- 13(金) 委員会活動
- 17(火) 全校地引き網体験予備日 ←
- 18(水) 児童朝会・防災教室(津波からの避難)
- 19(木) P T A三役会・P T A委員会
- 20(金) クラブ
- 25(水) 発表朝会・避難訓練(地震, 津波からの避難)
- 27(金) 体力テスト・委員会活動
- 28(土) 磯部小学校「防災の日」(防災講演会・炊き出し体験・防災に関する学習参観・A E D講習会)
- 30(月) 振り替え休業日

お弁当の用意を
お願いします



5月の磯部小学校

五月一日に、荒崎キャンプ場へ全校遠足に行きました。おいしい豚汁がけまじりました。





徳合ふるさとの会の皆様のご好意で、しだれ桜三本を校庭に植えていただきました。子どもたちも一緒に植樹をしました。



運動会練習がんばりました

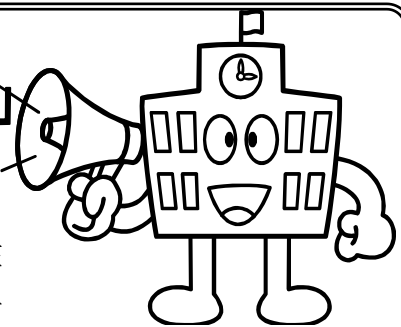
一足先に「学校だよりNo.3」を作成しなければならなかったため、平成26年度大運動会については次回の学校だよりでお知らせいたします。

金管パレード、徒競走、玉入れ、綱引き、応援、キッズソーラン、子どもたちは少ない時間の中で、一生懸命に取り組みました。高学年のリーダーたちは、低学年・中学年の子どもたちに工夫して教え、2年生・3年生・4年生たちは、自分たちの役割をよく考えて、1年生は他の学年のまねをしながら、それぞれ精一杯取り組みました。次回の学校だよりで、がんばった成果をお伝えできると思います。



校長室から

「磯部小防災の日」を設定しました



磯部小学校は、今年度防災教育を教育活動の大きな柱の一つに取り上げています。その取組の一環として今年度は6月28日(土)を学習参観「磯部小 防災の日」とし、講演会、炊き出しと非常食の体験、防災学習の学習参観、AED講習(大人対象)を実施します。

講演会は、東日本大震災の復興ボランティアに取り組んでいる、「越後 愛 届け隊」の倉田智浩さんのお話です。地域の皆様からもお聞きいただき、子どもたちと一緒に考えていただける内容です。後日くわしく案内いたしますので、ぜひたくさんの方から足を運んでいただきたいと思います。

防災教育は、地域の中で、地域の皆様とともに取り組んでいかなければならない教育活動です。本校の取組についても随時お知らせしていきますので、様々な視点からのご意見をいただければ幸いです。



作文紹介



3年生は楽しかった遠足のことを日記で、2年生は野菜の観察日記を、5年生はOh!さかな教室の感想を作文に書きました。



【3年生 日記作文】

長崎 理央

五月二日金曜日 天気晴れ

きのう、遠足がありました。あらかきキャンプ場まで、たてわりはんどに歩いていきました。

はじめに、ぜん校でげんかんにしゅうごうして先生の話をきいてしゅっぱつしました。前をあげないようになしてがんばって歩きました。

そして、あらかきキャンプ場につきました。ついてから、先生の話をきいて、すぐにとんじるづくりをはじめました。ぼくは、火をつけるかかりでした。らいきさんと一しよに火をつけました。食べたらとてもおいしかったです。食べたあとで、川で遊びました。おんさんと歩きまわっていました。さいごにウォークラリーをしました。たんじょう日じゅんにならぶ問題がむずかしかったです。楽しい遠足ができてよかったです。

【2年生 きぼうやさい日記】

七原 舜

五月十四日(水) 「草とり」

キュウリのはっぱのようがかわってしまいました。はっぱが大きくなっていました。草とりをして、早く大きくなるようにしました。草はたくさんありました。八人でやったら、あつというまになくなりました。中でもとしひろさんがねっしんでした。しゅうちゅうしてやったらさっぱりしました。楽しかったです。それと、つるが出てきました。

竹田 としひろ

五月十三日(火) 「ミニトマト」

ミニトマトが大きくなりました。一つがつき中にもっと大きくなってほしいです。まいにち水やりや虫がはっぱを食べていないかたしかめていきます。

うち山 まいる

五月十三日(火) 「ミニトマトのようす」

ミニトマトをうえました。小さいつぼみみたいなのがあります。前よりもなえがおおきくなって、はっぱが二十二まいぐらいありました。まいにちかれないか見たいし、水をあげたいです。早くおおきくなってほしいです。

【5年生 感想文】

「Oh!さかな教室」

五年 塚田 生

五月十三日に「Oh!さかな教室」がありました。すごく楽しかったことが二つありました。

一つ目は、「魚さわりコーナー」でした。大きなエイ、イカ、タコ、アンコウ、メギスがいきました。特に大きかったのは、ヒラメでした。それを持った時は、重いし、動かし、とにかく大変でした。だけどヒラメにまけないようにがんばって持った時は、気持ちよかったです。

二つ目は、船に乗った時でした。最初はよったけど、よいどめをのんだらよわなかつたです。その日は、少し波が高くて、しおが顔にかかったけど、それがぎやくに気持ちよかったです。船の中でびっくりしたのは、船のブレーキが後ろについていたことでした。

「Oh!さかな教室」は、サッカーの友達にも会えたし、かに汁もとてもおいしかったです。とても楽しい一日でした。

